



佐久の薰風

No.17

2022(令和4)年11月30日発行

発行人 学校法人佐久学園

編集人 佐久大学広報委員会

<http://www.saku.ac.jp/>

CONTENTS

- 特集 新たな動き 学生支援と学生の受け入れ ……2
佐久大学の地域における社会貢献活動の拠点を指して! ……2
Topics 社会連携・研究支援センター ……3
オープンキャンパスを開催しました ……3
Campus Memory ……4
大学祭開催 ……5
シリーズ・研究室探訪3 ……5
人間福祉学部 キャリア開発支援プログラム ……6
職業実践力育成プログラム(BP)と教育訓練給付制度 ……6
キャンパストピックス ……7
文部科学省「地域活性化人材育成事業～SPARC～」 ……8
佐久大学から ……8

新たな動き 学生支援と学生の受け入れ



人間福祉学部 学科長
下村 幸仁

人間福祉学部の編入生受け入れます

人間福祉学部は2021年4月にできた新しい学部で、3年次生からの編入学制度を設けています。募集定員は10人です。現在、本学短期大学部はもとより県内の短期大学と専門学校を編入学試験指定校として試験を実施しており、今後県外にも指定校の拡大を行います。そこでこれまで多くの人材を輩出されてきた短期大学部や看護学部の卒業生の方々にリカレント教育として、また社会福祉士あるいは精神保健福祉士の国家資格取得のための教育の機会を提供したいと考えています。いずれの資格もこれからますます社会から必要とされる重要な資格です。皆さま、編入して一緒に(社会福祉・ヒューマンケア)を学びませんか。



佐久大学の地域における社会貢献活動の拠点を目指して!

ボランティア・アクションセンター設置準備委員会委員長 人間福祉学部 准教授 佐藤 園美

佐久大学に新たにボランティア・アクションセンター (VAC) がオープンすることになりました。場所は1号館1階東側入口ラーニングcommonsに決まり、現在来年4月をめどに開設すべく準備を進めているところです。このセンターは、地域の様々な情報を収集し、学生主体の社会貢献活動をサポートするボランティアセンターの役割に留まらず、将来的には社会的起業による地域貢献の場を目指しています。具体的な活動内容はこれから専任スタッフ、学生等と一緒に考え作っていきたいと思っています。センターの活動にご協力をよろしくお願いいたします。



新任教員紹介

①担当領域 ②出身地 ③出身校 ④趣味 ⑤自己PR



人間福祉学部 准教授 根本 貴子

①医療福祉

②長野県

③日本社会事業大学大学院

④街歩き

⑤出身地の長野県でソーシャルワーカーの養成に携われることにご縁を感じています。

社会連携・研究支援センター

Topics
トピックス

社会連携部門

国際交流部門

研究研修部門

社会連携研究支援センターでは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対策を継続しながら、地域イベントへの参加や海外からの研修生の受入などの活動を本格的に再開しました。

【社会連携部門】

公開講座

「今年のテーマは「災害」」。9/3、10/8、11/5、12/3の土曜日に多彩な講師をお招きし開催中です。（写真右）（12/3は新型コロナウイルス感染症の拡大状況により延期。）

さくカフェ

毎月1回、認知症について皆で学び合っています。この日は、季節を楽しむ話題や集中力を高める玉入れを楽しみました。カフェタイムでは、皆さんの経験や悩みなどを自由に語れる場ができました。（写真左）



【国際交流部門】

JICA

タイのサンスク町からヘルスボランティアの皆さん12名がリハビリテーション研修で来日。高齢者介助は、“力でなく技である”ことを学びました。（写真右）

日本台湾交流協会

台湾全土から選ばれた病院や施設の管理者8名の研修生が来日し（写真左）、講義と高齢者施設視察を通して、約3週間、日本の介護について学びました。



ぞっこんさく市! & SAKUメッセ

10月1日（土）、2日（日）の両日、佐久市の駒場公園、県創造館一帯で開催された、ぞっこんさく市！（主催：佐久商工会議所）とSAKUメッセ（主催：佐久産業支援センター）に出展しました。SAKUメッセの「足の保健室」でフットケアと相談を、ぞっこんさく市では「フットダーツ」や「輪投げ」を楽しんで頂きました。



オープンキャンパスを開催しました

7月23日（土）、8月20日（土）にオープンキャンパスを、また5・6・9月にミニオープンキャンパスである大学説明会を開催しました。今年はCOVID-19による行動制限も解除されたため、全て対面形式で開催し多くの皆さんにご参加いただきました。

オープンキャンパスでは「大学生を体験しよう」をテーマに、履修登録や模擬授業・演習体験、学食でのランチ体験等大学を体感していただきました。次回オープンキャンパスは3月18日（土）になります。詳細はホームページをご覧ください。



CAMPUS MEMORY

「先輩に聴く」

本学を卒業した先輩方に学生時代の思い出と今の仕事について語っていただきました。



和久井 直 (旧姓 石井)
2013年度卒業
特別養護老人ホームローマン上田

短大卒業後、上田市にある特別養護老人ホームローマンうえだへ就職し、今年で9年目になります。認知症になってもご本人らしく生活するためにどのような支援をすればよいのかチームで考えながら取り組んでいます。ご利用者さまと関わる中で日々学ぶことが多く、充実しています。生活介護以外にも誕生日会や夏祭り、敬老会などの季節の行事を企画して、ご利用者様に楽しんで頂いています。中堅職員となり、上司や他職員とコミュニケーションをとりながら支援以外にも業務改善や、皆が働きやすい雰囲気づくりに努めています。

短大時代で学んだことが、今の私の基礎となっています。短期大学の皆さんは2年という短い期間で勉強に実習と忙しく大変だと思いますが、必ず現場で役に立つ事ばかりです。一緒に学ぶ仲間と切磋琢磨しながら頑張ってください。



大串 真由
2019年度卒業
上田市役所 保健師

現在は、主に新生児訪問、乳幼児健診、発達支援などの母子業務をしています。市民の方と密に関わる職種なので大変なことも多いですが、子どもたちに癒され、困ったことは先輩方に相談しながら、日々仕事に励めています。

学生時代を思い返すと、遊びに行ったこと、バイトに明け暮れたこと、大変だったはずの実習やテスト勉強も、どれも友人たちと過ごした楽しかった思い出です。4年間をともに過ごした友人たちは、今でも“仲間”だと思っています。皆さんもぜひ自分の未来を想像しながら、夢に向かって仲間と一緒に学業に励んで下さい。



高橋 幸大
2020年度修了
長野厚生連長野松代総合病院 看護部

プライマリケア領域の診療看護師 (NP) を目指すにあたり、地域医療の聖地と言われる佐久で学修できたことは、とても刺激的で意義のある経験でした。大学院での学びや貴重な出会いは、私の人生を大きく変える出来事になりました。

現在は脳神経外科外来に配属となり、外来通院中の患者さんから救急搬送される患者さん、入院中の患者さんまで幅広く関わっています。臨床は課題が山積みですが、解決の一助となれるようNPとして頑張ります。

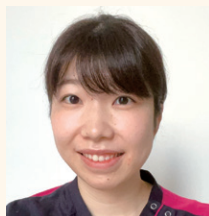


宮崎 咲月
2021年度卒業
信州大学医学部附属病院 看護師

学生時代は大変なこともありましたが、親友たちのおかげで楽しく乗り越えることができました。食堂で夜遅くまで一緒に勉強したり、美味しいものを食べて気分転換したり、コロナ禍でも小さな楽しみを見つけて支え合ったり。4年間過ごした何気ない日常が、今となっては大切な思い出です。

現在は、外科系の混合病棟で看護師として働いています。様々な疾患や治療の勉強が必要になりますが、その分多くのことを経験させていただいています。先輩は尊敬できる方々ばかりで、自分の目指す看護師像や目標が徐々に明確になってきました。少しでも成長できるよう日々奮闘しています。

皆さんも学生生活を楽しみながら頑張ってください。応援しています。



春原みのり
2020年度卒業
JA長野厚生連 北信総合病院 助産師

学生時代の思い出は別科助産専攻での実技練習です。実際の分娩を想定してどのような声かけが適切か、どの方法が効率的かなど学生同士で話し合いながらお互いに高められました。実際の実習でのギャップや学びを共有して、別科生みんなで学びを深めようという空気が心地よかったです。

現在は産婦人科病棟で勤務しており、諸先輩方のご指導の元、日々学ぶことばかりです。働く中で婦人科疾患の手術後の管理、外来や小児科との連携、行政の制度にも関わるなど、助産師の仕事の幅の広さを改めて実感しました。まだ経験が浅いですが、その中でも患者さんや妊産褥婦、そのご家族が持つ力を引き出せるケアができるように頑張りたいと思います。

大学祭開催!



令和4年10月22日(土)に、参加者を学内関係者(学生・教職員)に限定し、感染防止対策を徹底した上で開催しました。

今年度のテーマは「結～YUI～」

コロナ禍で弱まってしまった繋がりを再び結び直し、学部学年関係なく交流を深めることで学生生活を充実したものにするという思いを込めました。

今回初めての試みとして、午前には体育祭を併催し、秋晴れの中、グラウンドで汗を流すことができ、テーマに掲げた通り、学部学年を超えた学生同士の繋がりを深めることができました。1・2年生全員参加の体育祭は、想定外のことも多く大変でしたが、皆さんの協力のもと大成功に終わられたこと感謝します。

午後は、お笑いライブや男装女装大賞、ビンゴ大会などのイベントが行われ、大いに盛り上がりました。参加者の皆さんの盛り上げもあり、芸人さんにも大変喜んでいただけました。

閉祭式では、盛大な花火が上がり、感動の締めくくりとなりました。

また、地域貢献の一環として近隣の上田・佐久それぞれの保健福祉事務所へ日頃の感謝を込めてリラックス用品を贈りました。

コロナ禍での大学祭は、不安なことでも沢山ありましたが、実行委員会のメンバーを中心に協力し合い、なんとか一つのカタチにできたのではないかと思います。短い時間ではありましたが、参加者それぞれが楽しい時間を過ごすことができました。

来年度は一般公開ができることを祈りつつ、大学祭開催にあたりご協力くださいました皆様にこの場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

秋桜祭・信陽祭
佐久大学・佐久大学信州短期大学部
大学祭実行委員会



シリーズ・研究室探訪 3 地域看護学領域の紹介

地域看護学とは、地域で暮らす人々の健康とQOLの向上を目指し、様々な健康レベルにある人を対象とし、コミュニティと協働しながら効果的な看護を探究する実践科学です。

地域看護学を探究するコースでは、現在、学部では保健師教育課程を選択した4年生19名が履修しております。市町村や保健所で実習し、地域住民の方に健康教育を実施し、Covid-19における保健師の相談、対応も学んでおります。計6週間の実習を終えた学生たちは、人々から学ぶ大切さや多様な価値観を尊重することの重要性を学び、人としての大きな成長も感じさせていております。

大学院では、訪問看護ステーションや行政に勤務しながら就学し、実践現場での課題や疑問を解決するために、または、よい看護実践を可視化、形式知化するために専門職として学び続けておられます。是非、一緒に地域看護を探究し、エビデンスに基づく健康で暮らしやすいまちづくりを目指していきましょう。



地域看護学 教授
小林 恵子



地域看護学実習を終えた発表会

人間福祉学部 キャリア開発支援プログラム

人間福祉学部のキャリア開発支援プログラムの特徴はインターンシップに重点を置いていることです。本プログラムにおけるインターンシップの目的は、実社会で活躍できる実践力と人間力、さらには学生のジェネリックスキルを育成することとしています。

また、福祉事務所の現業員、児童相談所の児童福祉司等の公的機関のソーシャルワーカーを志す学生を対象に、公務員試験対策講座を短期集中型で行います。



(株)マイナビ講師による「コミュニケーション力UP講座」

人間福祉学部 キャリア開発支援プログラム

学年	日程	内容
1	10月	コミュニケーション力UP講座
2	6月	インターンシップ事前学習
	6月	マナー講座
	夏期休業以降	インターンシップⅠ
	12月	インターンシップ報告会
	3月	公務員試験対策講座
3	4月	就職活動スタートアップ講座
	4月	自己分析講座
	5～翌3月	インターンシップⅡ
	6月	就職活動マナー講座
	12月	インターンシップ報告会
	12月	選考対策講座Ⅰ
	3月	公務員試験対策講座
4	4月	選考対策講座Ⅱ
	3月	新社会人講座

佐久大学大学院は「職業実践力育成プログラム(BP)」と「教育訓練給付制度」に指定されています。

社会人のキャリアアップのための学びを応援します。

文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」とは



Brush up Program
for professional

大学、大学院、短期大学及び高等専門学校等の正規の課程と履修証明プログラムで、主に社会人を対象とした実践的・専門的な課程を文部科学大臣が認定するものです。

本学では大学院のプライマリケア看護コースが認定されています。

受講生の声



佐久大学大学院 看護学研究科看護学専攻 プライマリケア看護コース 森崎 玲菜さん

私は、専門実践教育訓練の対象となったため、給付金として6ヶ月ごとに教育訓練費の一部を支援してもらえることで、経済面で余裕を持ちながら資格取得のための勉強優先で生活ができています。また、佐久大学がこの制度の指定講座となっていることで、キャリアアップのための進学を選択する後押しにもなりました。

厚生労働省「教育訓練給付制度」とは

職業実践力育成プログラム(BP)のうち、厚生労働省の教育訓練給付講座の指定基準を満たしているとして厚生労働大臣の指定を受けた講座で、一定の条件を満たしている受講生に対し、受講中または修了時に受講費用の一部が支給されるものです。

本学では、大学院のプライマリケア看護コースが「専門実践教育訓練」に指定されています。

※修士論文コースは、「職業実践力育成プログラム」とは別に、教育訓練給付制度の「一般教育訓練」に指定されています。

- 5/9 ● **EBN実習Ⅰ開始**
看護学部2年次生
- 5/15 ● **パパママ教室**
助産学専攻科
- 5/17 ● **特別奨学生激励会**
信州短期大学部
- 5/19 ● **介護実習Ⅲ開始**
信州短期大学部介護福祉専攻2年次生
- 5/23 ● **福祉施設実習Ⅰ開始**
信州短期大学部子ども福祉専攻2年次生



- 5/28 ● **大学説明会**
- 6/1 ● **ナーシングセレモニー**
看護学部2年次生
- 6/4 ● **地域生活者交流実習Ⅰ開始**
看護学部1年次生
- 6/6 ● **プライマリケア看護学実習Ⅰ**
大学院2年次生
- 6/9 ● **EBN実習Ⅱ①前半開始**
看護学部2年次生
- 6/10 ● **CBL実習Ⅰ開始**
人間福祉学部1年次生
- 6/12 ● **パパママ教室**
助産学専攻科
- 6/16 ● **EBN実習Ⅱ①後半開始**
看護学部2年次生
- 6/25 ● **大学説明会**
人間福祉学部、信州短期大学部
- 6/25 **佐久平総合技術高校からひつじをお借りする**



- 6/27 ● **看護総合実習開始**
看護学部4年次生
- 6/27 ● **授業公開・参観**
信州短期大学部(保護者、高校生、実習施設職員)
- 7/4 ● **保育者論 学外授業**
信州短期大学部子ども福祉専攻1年次生
- 7/9 ● **導入基礎演習発表会**
看護学部1年次生
- 7/10 ● **認知症ケア准専門士認定試験**
信州短期大学部介護福祉専攻2年次生
- 7/10 ● **パパママ教室**
助産学専攻科

- 7/11 ● **プライマリケア看護学実習Ⅱ開始**
大学院2年次生
- 7/19 ● **高校で思春期実習を実施**
助産学専攻科
- 7/23 ● **オープンキャンパス**
- 8/1 ● **立誓式**
信州短期大学部介護福祉専攻1年次生
- 8/2 ● **介護実習Ⅰ**
信州短期大学部介護福祉専攻1年次生
- 8/17 ● **国際看護論 タイ研修**
看護学部4年次生
- 8/20 ● **オープンキャンパス**



- 8/29 ● **中国・浙江省との大学間連携事業開始**
- 8/29 ● **保育所実習Ⅱ・福祉施設実習Ⅱ開始**
信州短期大学部子ども福祉専攻2年次生
- 8/29 ● **助産学実習オリエンテーション**
- 8/29 ● **地域看護学実習(前半)開始**
看護学部4年次生
- 8/30 ● **CBL実習Ⅱ開始**
人間福祉学部1年次生
- 8/30 ● **介護実習Ⅳ開始**
信州短期大学部介護福祉専攻2年次生
- 9/1 ● **ナーシングセレモニー**
看護学部3年次生
- 9/5 ● **領域別看護学実習開始**
看護学部3年次生
- 9/5 ● **助産学実習開始**
助産学専攻科
- 9/23 ● **大学説明会**
- 9/26 ● **地域看護学実習(後半)開始**
看護学部4年次生
- 10/1・2 ● **ぞっこんさく市・SAKUメッセ出展**
- 10/11 ● **防災訓練**
- 10/15 **佐久平総合技術高校へひつじをお返しする**
- 10/22 ● **大学祭(秋桜祭・信陽祭)**
- 10/28 ● **ヒューマンケア基礎実習開始**
人間福祉学部1年次生

退職者紹介

佐久学園での教育にご尽力いただき、ありがとうございました。



地域看護学 教授
鶴岡 章子



成人看護学 助手
櫻井 真智子

新型コロナワクチン接種状況



新型コロナワクチン接種の3回目接種状況は、別表の通りです。(9月末時点での接種済証の提出を集計)学外実習を行うにあたり、感染予防、重症化予防の一環として、ワクチン接種を推奨しています。

3回目接種率

看護学部		人間福祉学部		短期大学部	
1年生	83.5%	1年生	57.9%	介護福祉1年生	54.5%
2年生	91.3%	2年生	71.4%	介護福祉2年生	86.7%
3年生	100%			子ども福祉1年生	44.4%
4年生	97.4%			子ども福祉2年生	100.0%

長野県内3大学連携による地域活性化人材を育成へ 文部科学省「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に採択される

本学は、信州大学と長野大学と連携し、地域社会と大学間の連携を通じて地域を牽引する人材を育成することを目的とした文部科学省の「地域活性化人材育成事業～SPARC～」の採択を受け、県内の産業界等とも連携した取り組みを開始することになりました。

3大学は、これまでも県内の高等教育機関で組織する高等教育コンソーシアム信州での連携を図ってきましたが、地域ニーズの高い製造業や福祉分野で

の活躍を念頭においた地域学、データサイエンス、グリーンテクノロジー、地域課題解決PBLといった分離横断型の連携開設科目を令和6年度から開講し、地域の課題解決などを担う専門人材の育成を推進していきます。

本事業の詳細については、
本学ホームページをご覧ください。

<https://www.saku.ac.jp/2022/09/sparc-press/>



佐久大学古本募金

読み終えた本が
学生のための新しい本に生まれ変わります

「佐久大学古本募金」は、皆さまからご提供いただいた本・CD・DVDの買取金額が寄付となり、佐久大学図書館の資料購入費として学生の学修支援活動に役立てられるプロジェクトです。

古本募金の流れ

1. 本・CD・DVDを梱包・申込
2. 古本の集荷仕分け・査定
3. 佐久大学古本募金へ



合計5冊(5点)から送料無料



買取金額の寄付



申し込み方法

専用フォームからお申し込みください。宅配業者が玄関先まで集荷に伺います。

佐久大学古本募金の詳細はこちら
<https://www.charibon.jp/partner/saku/>



寄附金のお願い

本学園では、高等教育機関としての社会的使命を実現するために、ご寄附をお受けしております。ご支援を賜った方々のご厚志に感謝し、学内には寄付者銘板を掲げご芳名をしるし、顕彰させていただきます。今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

募集金額 個人：一口 3,000円より

法人：特に定めなし

※税法上の優遇措置が適用されます。

※詳細につきましては、ホームページまたは担当(総務課)までお問合せください。

<https://www.saku.ac.jp/about/donation/>

TEL.0267(68)6680 E-Mail.soumu@saku.ac.jp

編集後記



過去の本誌を見ると、その時々社会情勢に迅速に対応したものとなっており、例えば何か新しいことをしようとしたとき、過去の本誌が大変参考になると感じます。今号も未来の教職員の皆様に参考にしていただけるよう記事を編集いたしました。皆様にとって薫風が「生きた教科書」のような役割を果たせることを願います。(KH)

